

## 奈良県の企業、インドへ「サトウキビ収穫機」導入に向けて 「収穫効率・品質」「農家の所得」「農業生産性」の向上を目指して

国際協力機構(JICA)は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査」において魚谷鉄工株式会社(奈良県五條市、黒田晃代表取締役)が提案する「サトウキビ収穫機導入に向けた案件化調査」(インド)採択しました。

砂糖の世界最大消費国であるインドでは、サトウキビ栽培は州政府も栽培増加を後押し、地方部の農民が多く従事しています。しかし、収穫時には州外からの臨時労働力に依存しているため、地元農家の所得向上がみられず、また、農民が出資する製糖工場の経営の悪化や地球温暖化の影響(干ばつ)などから、生産量が安定していません。

(株)魚谷鉄工の製品は、小規模または軟弱地盤の圃場や狭い畦幅での作業が可能であり、倒伏又は曲がった茎でも収穫可能で、裁断時の断面積が小さくすることによる鮮度保持できるなどの特徴があります。このようなサトウキビ収穫機が普及することは、機械化による栽培～収穫～搬入に及ぶ新たなサプライチェーンの定着を目指すものであり、インドの貧困層の多数を占める農民の所得と農業生産性の向上、生産量安定化にも繋がると期待できます。



写真：手作業によるサトウキビ収穫(インド)



写真：提案企業のサトウキビ収穫機(沖縄)

調査内容は、対象地域における購買意欲や価格適合性、その市場規模、農家のニーズに即した現地モデルの開発可能性、関連政府機関の事業実施能力等について調査、ビジネス普及の可能性の検討を予定しています。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第1回分は本年2月に公示を行いました。117件の応募のうち35件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：(プレスリリース)案件化調査2016年度第1回公示の採択結果について

URL: <http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 中津(案件担当)、橋本(広報担当)

TEL 03-5226-3243 e-mail: pdtfs@jica.go.jp